

つかさ会 会報

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

立秋（8月8日）から暦の上では秋で、以後は残暑となるそうです。さらに処暑（8月23日）は、暑さがおさまってきて穀物が実りはじめる季節とされています。今月の『さかえ』は、処暑に事務局に届きました。この会報が皆様のお手元に届くころには…まだまだ暑いでしょうか。

つかさ会の会員の皆様、体調管理には注意しましょう。

貴会員様より、秋のつかさ会講演会の申込みが届いていないようですが、よろしかったでしょうか？ 申込み期日は終了いたしました。まだ少しの間は受け付けておりますので事務局まで（TEL:058-230-6378、FAX:058-230-6375）ご連絡ください。

（もしも『申し込んだはずなのに・・・』という方もご連絡ください）

宜しくお願い致します。



今月号の『さかえ』では、まずは“災害に備える(P9)”を御一読ください。9月1日の「防災の日」にちなんで毎年特集されております。災害時の持ち物では、水・食糧・衣糧も大事ですが、薬やインスリンなどは必ず持ち出してください(非常用キット(P11)参照)。薬を持ち出せなかったときにはかかりつけ医に連絡を…と書いてあります。しかし大震災の際を想像ください。大学病院をはじめ基幹病院は怪我人で溢れます。内科の薬が不足して来院されても、かなりの時間待たされると思います。電話をしても繋がりません。ですから日頃より準備をして、もしもの際には自分で数日間の対処が出来るように用意しておく良いですよ～。

“糖尿病物語(P26)”は是非読んでください。網膜症は怖い合併症です、手術をしても網膜は必ずしも元通りにはなりません。聞きたくない話かもしれませんが、大切なことなので眼👁️👁️をそらさないようにしましょう。

“隣島移植の現状(P17)”と“アジア糖尿病事情(P34)”は、内容が難しいので興味がある方は目を通して見て下さいね。“歯科医からのメッセージ(P28)”では、いつもの歯周病と糖尿病の話です。大切なことです。1型の方は“楽しむチカラ(P49)”“志を以って(P53)”を読みましょう。患者さんの経験は、医師やコメディカルの声よりも心に響くものですよ。